

防災を考える日

～ テーマ「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう」～

内容

- 1 今月のテーマ
- 2 積乱雲がもたらす被害
- 3 積乱雲が近づく兆しとは
- 4 急な大雨・雷・竜巻への備えは

気象情報をこまめに確認するとともに、積乱雲が近づく兆しを感じたら、すぐに危険な場所から離れる、丈夫な建物に避難するなど、「自分の身は自分で守る」ことが大切です。



今月のテーマ

「防災を考える日」の今月のテーマは、「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう」です。発達した積乱雲の下では、急な大雨・雷・竜巻などの激しい突風が発生します。積乱雲が近づく兆しを感じたら、すぐに危険な場所から離れる、丈夫な建物などにしばらく避難するなど急な大雨・雷・竜巻から身を守るために必要なことについて、皆さんで話し合ってみましょう。

積乱雲がもたらす被害

- (1) 急な大雨 ⇒ 川の急な増水、道路の冠水、アンダーパスの水没など
- (2) 落雷 ⇒ 落雷(直撃雷)、側撃雷(木の幹や枝からの放電)など
- (3) 竜巻・突風 ⇒ 建物の倒壊・破損、飛来物の衝突、樹木・電柱等の倒壊など

積乱雲が近づく兆しとは

- ・真っ黒い雲が近づき周囲が急に暗くなります。
- ・雷鳴が聞こえたり雷光が見えたりします。
- ・ヒヤッとした冷たい風が吹き出します。
- ・大粒の雨や「ひょう」が降り出します。

急な大雨・雷・竜巻への備えは

- ・外出や屋外活動の前には、天気予報や雷注意報をチェックしましょう。
- ・テレビやラジオのほか気象庁の「高解像度降水ナウキャスト」などで、最新の状況を確認しましょう。

～気象庁 高解像度降水ナウキャスト～

パソコン・スマートフォンから <http://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>

- ・積乱雲が近づく兆しを感じたら、すぐに危険な場所から離れ丈夫な建物などにしばらく避難しましょう。特に運動場など開けた場所や水辺は危険ですので、すぐに避難しましょう。

気仙沼市総務部危機管理課

988-8501

宮城県気仙沼市八日町1-1-1

電話番号:

0226-22-3402

FAX 番号:

0226-22-1467

電子メール:

kikikanri@kesenuma.miyagi.jp